

ホーム上の安全対策

障害者、高齢者をはじめとするすべての利用者のホームからの転落等を防止するため、鉄道駅におけるホームドア（可動式ホーム柵を含む）の設置を推進している。

平成21年3月31日現在、全国でホームドアは12路線141駅、可動式ホーム柵は25路線291駅に設置されている。



ホームドア



可動式ホーム柵

プラットフォームからの転落事故防止等に対する安全対策として、列車の速度が高く、かつ、1時間当たりの運転本数の多いプラットフォームについては、非常停止押しボタン又は転落検知マットの設置及びプラットフォーム下の待避スペースを整備するよう行政指導している。

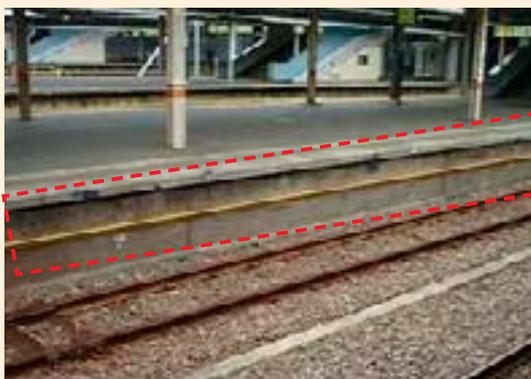
平成21年3月31日現在、非常停止押しボタン又は転落検知マットについては、対象2,074駅のうち1,828駅（88%）、プラットフォーム下の待避スペース等については、対象2,074駅の全てに整備されている。



非常停止押しボタン



転落検知マット



ホームに上がるためのステップ



ホーム下の待避スペース

プラットフォームへの列車の進入速度が概ね60km/h、かつ、運転本数が1時間当たり概ね12本の列車が通過又は停車するプラットフォームが対象